

入選

ヘアードネーション

福岡県 熊西小学校 2年 上島 結雫

わたしは、夏休み「ヘアードネーション」をしました。「ヘアードネーション」とはかみをきり、きふをすることです。そのかみをつかってウィッグをつくり、びょうきやけがで、かみの毛をなくした子どもたちにプレゼントすることです。

わたしは、おかあさんのスマートフォンのニュースで「ヘアードネーション」のことをしました。

(かみの毛がないのはたいへんだなー)と思ったので、わたしののばしているかみの毛をきふしようと思いました。けれどかみの毛をおくるためには、31センチメートルいじょうのながさがひつようということだったので、切ったあとのこともかんがえて、もつとのばすことにしました。

それから一年がたち、ようやく切れるながさになったので、おとうさんとびょうしつにいくことにしました。のびてくるかみの毛をみると、切りたくないなーと思ってしまうこともありました。ドキドキしながら、ゆうきをだして、びょうしつにはいりました。イスにすわると、びょうしのおにいさんが、

「だいじょうぶだよ。切ったあとどんなかみがたにしたい？」

と、ヘアカタログをもってきてくれました。

そのしゃしんをみたとき、なんだか切るのがたのしみになりました。すこしずつたばねられたかみの毛が、ジョキン、ジョキンと切られて、わたしは、

(切った。また切った。)とすこしずつスッキリしていきました。なん年もいっしょいきたかみの毛が、こんどはだれかのかつらとしてその人といっしょに、いきていくとかんがえると、ちょっとかなしいけれどちょっとたのしみです。

切りおわったかみの毛をかがみでみて、みじかくなったけれど、とつてもきにいました。

かつらをうけとつてくれる人もきにいて、うれしいって思ってくれたらいいなー。